

校長室だより
NO. 5
平成31年4月23日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

東西南北の校門の桜の木に名前が付きました

4月20日(土)の授業参観、PTA総会、引き渡し訓練には、多くの保護者の方々にご来校いただき、ありがとうございました。入学して間もない1年生の授業は初めての公開となり、保護者の方々は楽しみにしていたことと思います。子どもたちの新しい学級で楽しそうにがんばって学ぶ姿を参観していただきました。

今年の春は平成最後の春で、花冷えもあり、桜の花が長く楽しめた趣深い春でした。本校の桜も例外ではなく、入学式前から2週間程の間、きれいに咲く姿を見せてくれました。本校には桜の木が何本もあり、東西南北の校門にもそれぞれ分けられて植えられています。これは、どの門でも桜の花で子どもたちの新入学や進級を祝うことができるようにと、先人が考えて植樹したように思われます。中には植樹して100年もたつものがあります。今年の春は、その桜の木に1つの変化がありました。それは、門近くの桜1本ずつの計4本に、昨年度末、名前が付けられたことでした。

これは、昨年度の5年2組の子どもたち(現6年、学級担任・野村隼斗教諭)が、総合的な学習で、これまで何となく見ていた門に植えられている桜の木に着目し、それらに興味を持ち始めたことから始まりました。そして、その意味をいろいろな人に聞いたり、これまでの記念誌などで調べたりする中で、それぞれに愛着を持って名付けていきました。ただ、この名前は、自分たちで勝手におもしろおかしく付けたのではなく、その意味に関係したような名前にしようと考えたり、親しみやすい呼び名にしよう工夫したりしました。このように、まわりのことを考えて名前を付ける活動となっていくところに学習の意味がありました。

付けられた名前は、5年2組から全学級の子どもたちに説明する活動となり、全校に広がっていきました。5年2組の子どもたちは、各教室を回って、名前とその意味を説明していきました。そして、全校から聞いた意見を取り入れながら、桜の木の名前を決定していきました。私たち教師にもしっかりとした説明をしてくれました。

最終的に決められた桜の木の名前とその説明は、次ページのようです。それらは、それぞれの桜の木の近くに看板として取り付けられました。これにより、いつでも名前が分かり、看板の裏面を見れば説明が読めるようになっています。ある面で、本校の歴史に残るようなすばらしい活動となりました。



南門の桜「サザンくん」



正門(西門)の桜「サニーちゃん」

【東門・しょうちゃん】

「しょうちゃん」はウバヒガンという桜の木です。岐阜県高山市の天然記念物「莊川桜」の苗を移植したもので、その名前から名付けました。平成6年度卒業記念樹(1995)です。梅園小学校の桜の中で一番早く桃色の花を咲かせ、春を告げます。

【西門・サニーちゃん】

「サニーちゃん」はソメイヨシノという桜の木です。西門の近くの桜の木ということから頭文字をとって「サニーちゃん」と名付けました。私たちの目の前まで枝を伸ばし、春の日を浴びて満開に咲き誇る美しい姿で新入生を祝います。

【南門・サザンくん】

「サザンくん」はソメイヨシノという桜の木です。南門の近くの桜の木ということから「サザンくん」と名付けました。春のミズキ坂は、サザンくんをはじめとした4本の桜の花びらが舞い散り、すてきな光景となります。

【北門・きっさくん】

「きっさくん」はソメイヨシノという桜の木です。北門の近くの桜の木ということから頭文字をとって「きっさくん」と名付けました。大正6(1917)年3月23日に、梅園尋常高等小学校尋常科の第1回卒業記念樹として植えられたものです。

この名前と説明について、5年2組の子どもたちや担当の先生から話を聞いて、少し付け加えます。東門の桜は、莊川桜の名前からその頭文字をとって「しょうちゃん」と名付けられました。かわいい感じで花が咲くので、その感じを名前で表そうとしました。正門(西門)の桜は、桜の「さ」と西の「に」から「サニーちゃん」と名付けられました。明るい学校にしようとする気持ちから「サニー」と考えたということです。南門の桜は、英語で「サザン・ゲート・チェリー」の初めの言葉から「サザンくん」と名付けられました。何かかっこよさを感じる素敵な名前になっています。北門の桜は、北の「き」と桜の「さ」から「きっさくん」と名付けられました。言葉の響きから快活な感じがしてきて、がんばろうという気持ちになるそうです。なお、東西の門の桜は女の子を表し、南北の門の桜が男の子を表すということです。

植樹の記録を調べると、東門の「しょうちゃん」は植樹から24年たっています。樹齢はそれ以上ということになります。また、北門の「きっさくん」は卒業記念樹で、植樹年が石柱に刻まれています。その年は、本校が梅園の今の位置に移転して初めての卒業式(尋常科)があった年ということが分かり、植樹から102年たっています。この桜は100年もの間、北門で多くの子どもたちを見てきたのです。なかなかの歴史の厚みを感じます。

最後に1つ問題です。右の桜の名前は何と言うのでしょうか。どの場所かを見ればすぐに分かりますね。木の枝の伸び具合もヒントになります。今年度の「もの知りクイズ王大会」に出されそうな問題です。この春も梅園小学校のスタートに、文字通り、花を添えてくれた多くの桜に感謝です。



さて、この桜の名前は何でしょう